

正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管してください。お車への取付けは、必ずこの取扱説明書と別刷りの「安全上のご注意」に従って正しく行ってください。また、お車への取付けは、販売店様にご相談ください。

●特長

1. 付属のワイヤードリモコンでお好みの幅広い音楽に合わせて「DIGITAL EQ (DEEPモード / NATURALモード / DYNAMICモード)」を選択可能
2. ハイパワーと省電力を両立させ効率よく重低音を響かせる「DSP搭載CLASS-Dアンプ」を実装
3. シート下への設置など場所を選ばず車室内を効率よく使える薄型 & 小容積設計
4. RCAライン接続に加え、純正システムに手軽に接続できるスピーカーライン入力コードを同梱

●ご注意とお願い

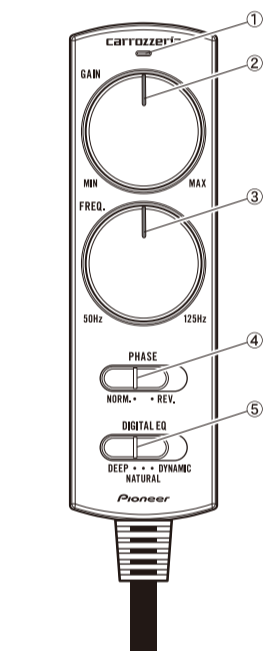
注意 人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容です。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

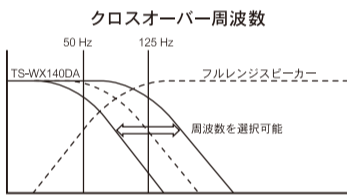
- 注意 (警告を含む) しなければならない内容です。**
- 必ず行っていただく 強制的な内容です。**
- 禁止 (やってはいけない こと) の内容です。**
- リモコンを他の機器につながらない**
リモコンだけでなく接続した機器が故障する原因になります。
- リモコンを直接日光の当たる場所への設置や、**
放置しない
変形や故障の原因になります。
- 動作中にコネクタの抜き差しは行わない**
故障の原因になることがあります。アクセサリやシステムリモートで本機の電源を切ってから、コネクタの抜き差しを行ってください。

●本機は、低域雑音のもとと多いカーステレオシステムと組み合わせて使用しないでください。カセット、CDの出し入れ時や、電源のON/OFF時に、ポップ音(ボンという音)などの雑音が再生される場合があります。

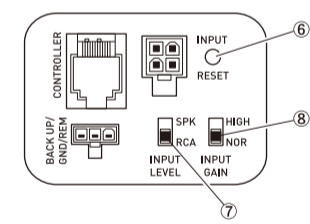
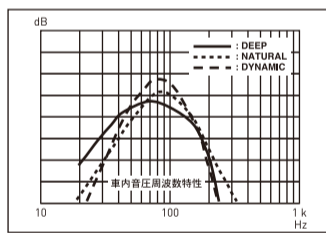
●各部の名称と使い方



- ① パワーインジケータ
●電源が入ると点灯します。
- ② ゲインコントロール
●つまみを回すことによりサブウーファーの音量を調節できます。お好みのレベルに合わせて、ご使用ください。
- ③ ローパスフィルター
●つまみを回すことにより、再生帯域を変変できます。システムに合わせて調節してください。



- ④ 位相切替スイッチ
●他のスピーカーシステムと位相が合っていない場合、音のつながり感が損われて聞こえることがあります。システムに合わせ、切替えてご使用ください。
- ⑤ DIGITAL EQスイッチ
●スイッチを切替えることで、サブウーファーの特性が変化します。音楽に合わせてお好みのEQに設定してください。



- ⑥ RESET ボタン
●RESET ボタンを押すと、本機のマイコンが初期状態(ご購入直後の状態)にもどります。次のようなときに、RESET ボタンを押してください。
・接続が終わった後
・本機が正しく動作しないとき
- ⑦ 入力切替スイッチ
●入力切替は音声信号入力の配線に合わせて切替えてください。
・RCA ケーブルを使用する際は必ず RCA に切替えてください。
・スピーカーライン入力配線でご使用の場合は必ず SPK に切替えてください。
- ⑧ ゲイン切替スイッチ (INPUT GAIN)
●ゲイン切替スイッチは、接続したカーステレオの出力レベルに、本機の入力レベルを合わせるためのものです。(プリアウト最大出力レベルはカーステレオ取扱説明書のおもな仕様または仕様書をご参照ください。)
・RCA ケーブルを使用して接続する際に、カーステレオの RCA プリアウト最大出力が 4 V 以上の場合は、HIGH に切替えてご使用ください。
・スピーカーライン入力配線でご使用の場合は、必ず NOR の位置でご使用ください。

入力	カーステレオ RCAプリアウトレベル	⑦入力切替	⑧ゲイン切替
RCA	4 V未満	SPK INPUT LEVEL	HIGH INPUT GAIN
RCA	4 V以上	SPK INPUT LEVEL	HIGH INPUT GAIN
スピーカー ライン	-	SPK INPUT LEVEL	HIGH INPUT GAIN

注意 リモコンを接続しない場合でも本機を使用することは可能ですが、次の制約があります。

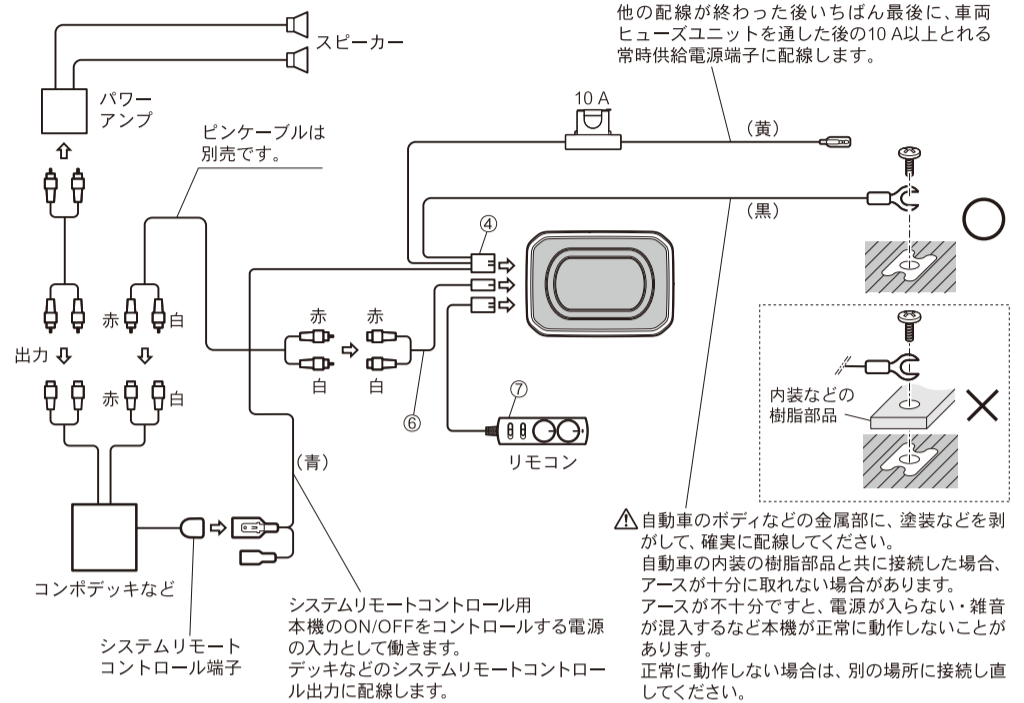
- パワーアンプは最大で出力されますので、適切な音量までカーステレオの設定でサブウーファーの出力を下げてください。
- RCA接続時、カーステレオの機種により「サブウーファー出力への切替設定」が必要な場合があります。切替方法はカーステレオの取扱説明書をご参照ください。
- 本機のローパスフィルター機能が無効化されますので、カーステレオ側でサブウーファーのローパスフィルターを設定してお使いください。カーステレオの調整機能についてはカーステレオの取扱説明書をご参照ください。
- 位相は NOR(正相)に固定されます。本機側での切替はできません。
- スピーカーライン入力配線でご使用の場合は、カーステレオ側でサブウーファーの音量、ローパスフィルターの調整ができませんのでリモコンは必須となります。

●配線のご注意とお願い

- 本機への配線は、必ず付属のコードを使用してください。純正スピーカーに使用されていたスピーカーコードをそのまま使用すると、ノイズ発生の原因となる場合があります。付属のコードとイグニッション、車載コンピュータ、ハーネスなど、ノイズの多く発生するものを近づけないように配線し、ご使用ください。ノイズの発生源は車種により異なりますので、カーディーラーもしくは販売店様にご相談ください。
- スピーカーへの配線は極性を間違えないように、正しく配線してください。スピーカーの極性(+、-)を間違えて配線しますと低音感の乏しい音になります。
- 入力切替スイッチは必ず音声信号入力配線に合わせて正しく切替えてください。切替位置を間違えた場合、音が歪むか、または音量が上がります。
- 接続する場合、お手持ちのカーステレオの取扱説明書も参照してください。
- 接続しない端子は、ビニールテープなどで絶縁処理をしてください。誤動作の原因となる場合があります。

●コード配線例

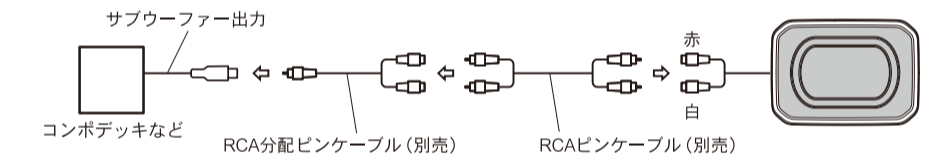
コンポデッキの組合せ (RCAピンジャック端子配線)



カーステレオ RCAプリアウトレベル	入力切替	ゲイン切替
4 V未満	SPK INPUT LEVEL	HIGH INPUT GAIN
4 V以上	SPK INPUT LEVEL	HIGH INPUT GAIN

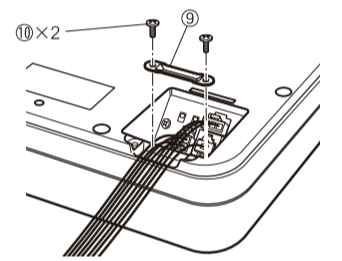
必ずRCAに切替えてください。

※コンポデッキの出力がRCA端子1つの場合

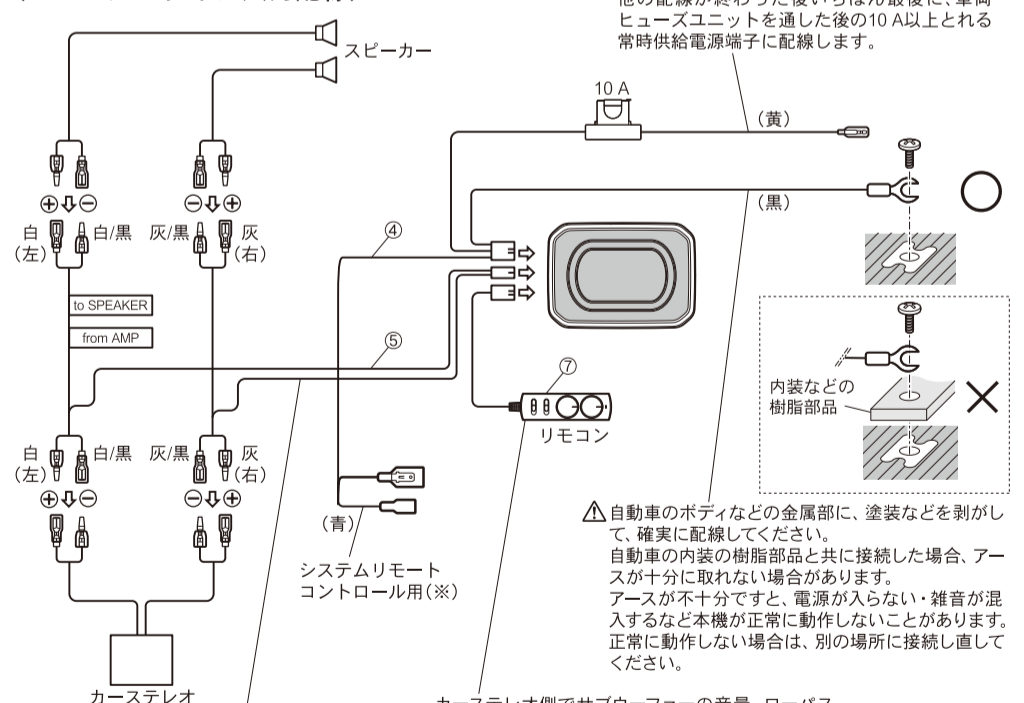


▲コンポデッキの出力がRCA端子1つの場合には、CD-20Y (別売) などのRCA分配ピンケーブルを使用してください。RCA端子1つのみの接続をした場合、出力が半分になり音が小さくなります。

注意:配線後コードクランパー⑨を取付けてください。



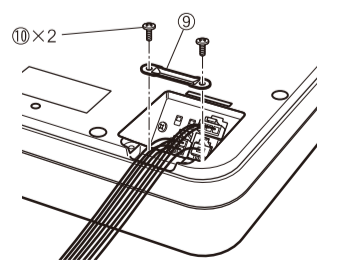
アンプ内蔵カーステレオとの組合せ (スピーカーライン入力配線)



▲自動車のボディなどの金属部に、塗装などを剥がして、確実に配線してください。自動車の内装の樹脂部品と共に接続した場合、アースが十分に取れない場合があります。アースが不十分ですと、電源が入らない・雑音が混入するなど本機が正常に動作しないことがあります。正常に動作しない場合は、別の場所に接続し直してください。

カーステレオ側でサブウーファーの音量、ローパスフィルターの調整ができませんのでリモコンは必須となります。

注意:配線後コードクランパー⑨を取付けてください。



入力切替	ゲイン切替
SPK INPUT LEVEL	HIGH INPUT GAIN

必ずSPKに切替えてください。

※オートパワーON/OFFについて

本機とカーステレオを、付属のスピーカーライン入力コードで接続した場合、カーステレオの電源ON/OFF動作と本機の電源ON/OFF動作は連動します。ただし、カーステレオによっては、この機能が正しく動作しないことがあります。この場合は、システムリモートコントロールコードを車両ヒューズユニットを通した後の2A以上とれるアクセサリ用端子に接続してください。また、複数のアンプと同時に接続する際は、システムリモートコントロールコードを使用してメインユニットとすべてのアンプを接続してください。

●取付方法

⚠ 注意

- 必ず付属の部品を指定通り使用して、しっかりと固定してください。指定以外のものを使用すると内部の部品をいためたり、ゆるんで外れたりする危険性があります。
- 取付けは車の運転の邪魔にならない場所、凹凸のない平らな場所、また急停車などの場合に、同乗者に危険を与えないような場所を選んで取付けてください。リアシートの背もたれは立てた状態でご使用ください。
- 本機は水のかかる場所やショートのある危険のある所、直射日光のあたる所には取付けしないでください。
- スペアタイヤ、ジャッキ、工具などが取出せる場所を選んで取付けてください。
- 車両に穴をあけるなど、加工を必要とする場合は、販売店様にご相談ください。
- 本機を取付けする際は車両のエアコンダクトの排気口を塞がないように注意してください。

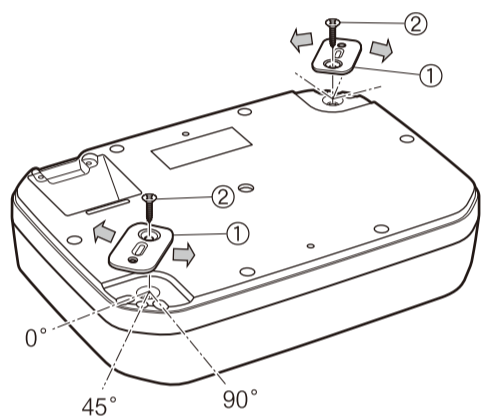
👉 アドバイス

本機を取付金具で固定する前にまず仮接続を行い、動作と音質の確認を行います。サブウーファーは取付場所や方向などの条件によって音質が変わる場合があります。本機が正常に動作することを確認してから固定作業を行ってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないかも一度チェックしてください。

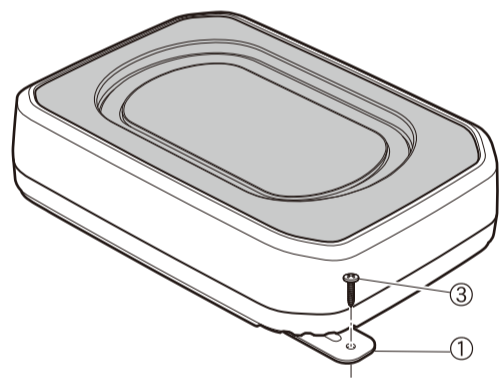
●本体の取付方法

- ⚠ 車両に埋め込まれている内部配線に取付けのネジが触れないよう、十分な距離があることを先に確認してください。
- ⚠ ドリルやカッターを使用する際には、車両内部の配線やパイプなどに傷をつけないよう十分に注意してください。

- 1 ネジ②を使い、本体裏側に金具①を取付けてください。本体の設置場所に合わせて、金具①の方向(0°、45°、90°)を調節してください。
※金具①の凸を、本体の溝に合わせて取付けてください。



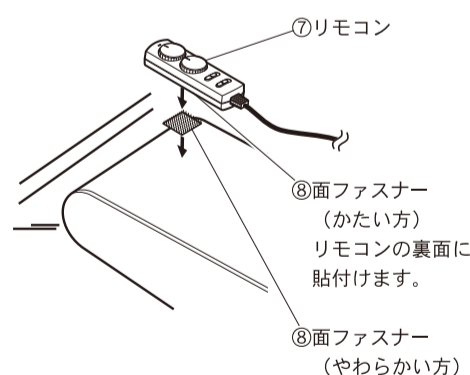
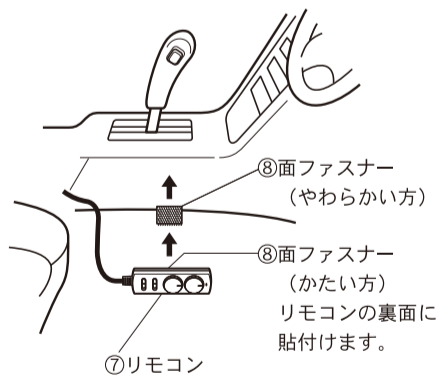
- 2 車両ボディに、ネジ③を使いしっかりと取付けてください。



●リモコンの取付方法

シフトレバーの脇に取付ける場合

コンソールボックスのフタに取付ける場合



●付属品

- ①金具 ×2
- ②ネジ(φ5 mm×14 mm) ×2
- ③ネジ(φ5 mm×18 mm) ×2
- ④コード 5m ×1
- ⑤コード 5m ×1
- ⑥コード 0.2m ×1
- ⑦リモコン 5m ×1
- ⑧面ファスナー ×1
- ⑨コードクランパー ×1
- ⑩ネジ(φ3 mm×8 mm) ×2

●故障かな?と思ったら

ちょっとした操作のミスや配線違いなどで故障と間違えることがあります。修理を依頼する前に下記のようなチェックをしてください。

症状	原因	処置
電源が入らない 動作しない 音が出ない	車のバッテリーが接続されていない。	配線が終わったら車のバッテリーを接続してください。
	バッテリーパワーコード(バッテリーパワー用、黄)の配線が不完全。	バッテリーパワーコード(黄)を車両のバッテリーに配線してください。
	システムリモートコントロール用リード線(青)の配線が不完全。	本機の青リード線をRCAピンジャックタイプのカーコンポーネントのリモートコントロール用リード線に配線してください。スピーカーライン入力配線の場合はアクセサリ電源に配線してください。
	アースが不完全。	すべての黒リード線(アース用)を車のボディーの金属部に確実に配線してください。また、金属部分にメッキ、塗装がついている、あるいは樹脂部品と共に接続するとアースが不完全な場合があります。導通性を高めるため、ヤスリなどでメッキ、塗装などを十分に剥がして接続してください。
	ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し切れたものと同じ容量のヒューズと交換してください。
	各コネクターの接続が不完全。	確実に接続してください。
	RCAコードまたはスピーカーライン入力コードが外れている。	RCAコードまたはスピーカーライン入力コードを確実に配線してください。
音が不自然	スピーカーライン入力コードの極性(+)(-)が合っていない。	スピーカー出力端子に表示されている極性に合わせてスピーカーライン入力コードを接続してください。
	フルレンジスピーカーと本機の位相が合っていない。	本機の位相切り替えスイッチを切り替えてください。
雑音が入る	アースが不完全。	すべての黒リード線(アース用)を車のボディーの金属部に確実に配線してください。また、金属部分にメッキ、塗装がついている、あるいは樹脂部品と共に接続するとアースが不完全な場合があります。導通性を高めるため、ヤスリなどでメッキ、塗装などを十分に剥がして接続してください。
電源のON/OFF時 ポップ音が出る	カーステレオアンプのポップ音(ボンという音)がもともと大きい。	本機の配線時、ポップ音の少ない信号ラインに接続してください。ノイズ性能の良いシステムと合わせてください。
音が歪む、または 音量が上がらない	接続するカーステレオの出力レベルと本機のゲイン切替スイッチの設定が合っていない。	カーステレオの最大出力レベルに合わせて、ゲイン切替スイッチを適切に設定してください。
	スピーカーライン入力配線で使用し、かつ本機のゲイン切替スイッチ(INPUT GAIN)がHIGHの位置になっている。	スピーカーライン入力配線でご使用の場合は、ゲイン切替スイッチ(INPUT GAIN)を、必ず「NOR」の位置でご使用ください。
	音声信号配線と入力切替スイッチの位置が合っていない。	RCAケーブルを使用している場合は、必ずRCAに切替えてください。スピーカーライン入力配線でご使用の場合は、必ずSPKに切替えてください。
音量が上がらない	SPユニットへの過大入力を防ぐ為に、保護回路が入っています。	故障ではありません。
EQ切替時、一時的に 音量が下がる		故障ではありません。

●アフターサービスについて

1. 保証書について

ご購入時には保証書にお買い求めの販売店様の捺印、住所、購入年月日が記入されていることをお確かめのうえ、(車検証入れなどにに入れて)大切に保管してください。保証書に所定事項が記入されていない場合や紛失したときには保証期間中であっても保証が無効となりますのでご注意ください。カースピーカーの保証期間はご購入後1年間となっております。

2. アフターサービスについて

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。ご購入後の商品の修理・お取扱い(取付け・組合わせなど)のご相談は、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。お買い求めの販売店様に修理のご依頼ができない場合は、修理受付窓口にご相談ください。保証期間経過後の修理につきましては、お買い求めの販売店様または修理受付窓口にご相談ください。修理すれば使用できる製品につきましては、ご希望により有料で修理いたします。なお、生産終了により、補修用性能部品の調達や修理後の性能保証などの事情から修理できない場合があります。あらかじめご了承ください。(補修用性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。)

本製品は持込み商品のため出張修理は承っておりません。引取り修理サービスをご利用ください。(お車から取外していただいた状態での引取りとなります。また送料はお客様ご負担となります。)弊社修理拠点へのお持込みは、商品をお車から取外した状態で承ります。なお、修理・点検時における本製品のお車からの脱着費用の負担、および脱着作業は承っておりません(保証期間内含む)。販売店様、または取付店様にご相談ください。

修理についてのご相談窓口

修理受付窓口 受付時間、よくあるお問い合わせなどはホームページをご確認ください。

- 修理受付サイト <https://pioneer.jp/rd/support/purpose/repair/>
- 電話【固定電話から】0120-5-81028 (無料)
【携帯電話・PHSから】050-3820-7550 (IP電話・有料)
または 0570-037-610 (ナビダイヤル・有料)
- ファックス 0120-5-81029 (無料)

商品についてのご相談窓口

●商品のご購入や取扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について
カスタマーサポートセンター ※記載内容は、予告なく変更させていただきますのでお客様サポートサイトもご利用ください。

- お客様サポートサイト <https://pioneer.jp/rd/support/>
- 商品についてよくあるお問い合わせ(FAQ) <https://pioneer.jp/rd/support/faq/>
- 電話【カーオーディオ/カーナビゲーション商品】 ※受付時間はお客様サポートサイトでご確認ください。
【固定電話から】0120-944-111 (無料) 【携帯電話・PHSから】050-3820-7540 (IP電話・有料)
または 0570-037-600 (ナビダイヤル・有料)
- ファックス 0570-037-602 (ナビダイヤル・有料)

※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

<各窓口へお問い合わせ時のご注意> 「0120」で始まる電話番号は、携帯電話・PHS・一部のIP電話などからは、ご使用になれません。携帯電話・PHSからは、ナビダイヤル、またはIP電話をご利用ください。(通話料がかかります)
正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただくことがございますので、発信者番号の通知にご協力いただきますようお願いいたします。
令和3年4月現在 記載内容は、予告なく変更させていただきますのであらかじめご了承ください。

お客様登録のお願い

商品をご購入いただいたお客様には、お客様登録・商品登録をお願いしております。
パソコンやスマートフォンからインターネットにアクセスいただき、バイオニアホームページ「オーナーズリンク」にてご登録手続きをお願いいたします。
<https://car-users.pioneer.jp/>

●仕様

- ・スピーカー仕様 …… 口径20 cm×13 cm
- ・アンプ仕様
- ・スピーカーシステム型式 …… 密閉方式
- ・出力音圧レベル(In car, Input : 2 V) ※
- …… DEEP 95 dB
- …… NATURAL 98 dB
- …… DYNAMIC 100 dB
- ・再生周波数帯域 ※ …… DEEP 20 Hz~200 Hz
- …… NATURAL 40 Hz~200 Hz
- …… DYNAMIC 40 Hz~160 Hz
- ・サイズ ……
- …… 280 mm(横幅)×200 mm(奥行)×70 mm(高さ)
- ・質量(付属品を含む) …… 3.30 kg
- ・総質量(梱包材を含む) …… 3.60 kg
- ※3種類の「DIGITAL EQ」を選択可能
- ・定格出力(RMS) …… 50 W(80 Hz, 1%THD)
- ・最大出力 …… 170 W(80 Hz, 35%THD)
- ・入力レベル(GAIN MAX 時)
- (RCAライン)※ …… DEEP 60 mV+60 mV/22 kΩ
- NATURAL 60 mV+60 mV/22 kΩ
- DYNAMIC 30 mV+30 mV/22 kΩ
- (スピーカーライン)※ …… DEEP 1.2 V+1.2 V/5 kΩ
- NATURAL 1.2 V+1.2 V/5 kΩ
- DYNAMIC 0.6 V+0.6 V/5 kΩ
- ・使用電源 …… DC14.4 V(10.8 V~15.1 V)
- ・最大消費電流 …… 4.3 A
- ・アース方式 …… マイナスアース方式

上記の仕様、および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

© バイオニア株式会社 2022

バイオニア株式会社 〒113-0021 東京都文京区本駒込2-28-8 文京グリーンコート (01.E91B1471)